

NIGIWA LABO

今回は会員1団体
4名様まで
ご参加いただけます。

第7回講演のご案内

会員以外の方でご参加を希望される方は
下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

講師：株式会社アフタヌーンソサエティ
代表取締役

清水 義次 氏



テーマ：「リノベーションまちづくりの実践
～民間主導による公民連携のまちづくり～」

講演者プロフィール

山梨県生まれ。

東京大学工学部都市工学科卒業。マーケティング・コンサルタント会社を経て、1992年株式会社アフタヌーンソサエティを設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした都市・地域再生プロデュースを行う。

近年は、リノベーションスクール、都市経営プロフェッショナルスクール等縮退時代のまちづくりの仕方を啓発する活動に注力している。

PROJECT

北九州市小倉家守プロジェクト、岩手県紫波町オガールプロジェクトなど、民間と公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業を各地でプロデュースしている。

開催日 **2019.3.20** (水)

開演 **15:00 ~ 16:45**

開場 **14:30**

会場 富士ソフト アキバプラザ
5階 アキバホール

〒101-0022

東京都千代田区神田練堀町 3

JR秋葉原駅近く・駐車場完備



民間が主導する、 自立的なまちづくり

遊休化した不動産を活かし新しい使い方をしてまちを変え、多くの都市・地域経営課題を同時解決する「リノベーションまちづくり」。解体撤去・新築型(再開発等)に比べてスピードが速く、収益性が高いのが特長です。

21世紀に入って日本社会の局面は大きく変わり、人口が減少し続け、自治体の財政状況は極めて厳しいところまで追い込まれています。

こうした中で持続するまちをつくりだしていくためには、民間が主導して自立的なまちづくり活動を行い、私たちの暮らしや産業の大事な基盤を維持管理運営していくことが必須とされます。

現在、それぞれの都市は、多くの都市・地域経営課題に直面しています。代表的な課題を上げると次のようなものがあります。

自治体の財政危機、地場産業の疲弊、人口の減少、医療介護費の増加、中心市街地の業務・商業の衰退、住宅地の空き家の増加、雇用の喪失、社会変化への対応力の欠落等々です。

「リノベーションまちづくり」を実行してまちが変わり、都市型産業が興ってきたり、コミュニティが再生したり、農業が活性化して過疎の町が復活してきたり、工務店が元気になったりしている事例をお話します。



Yoshitsugu Shimizu

清水 義次 氏

都市・地域再生プロデューサー

株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役

3331アーツ千代田代表

株式会社リノベリング代表取締役